



平成 27 年 11 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社 鉄 人 化 計 画
代 表 者 名 代表取締役社長 堀 健一郎
(証券コード 2404 東証第二部)

問 合 せ 先 執行役員管理本部長 国本 亮一
TEL 03-3793-5117

(訂正・数値データ訂正)「平成 27 年 8 月期 決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正について

平成 27 年 10 月 15 日に開示いたしました「平成 27 年 8 月期 決算短信[日本基準] (連結)」に一部訂正がありましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後のデータも送信いたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

サマリー情報、業績等の概要、連結キャッシュ・フロー計算書、表示方法の変更及びセグメント情報等の記載に一部誤りがありましたので、訂正を行うものです。また、本訂正により表示方法の変更を追記しております。

2. 訂正箇所

(サマリー情報)

1. 平成27年 8 月期の連結業績 (平成26年 9 月 1 日～平成27年 8 月31日)

(中略)

【訂正前】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年 8 月期	<u>983</u>	<u>1,042</u>	△1,493	2,676
26年 8 月期	831	△347	△950	2,140

【訂正後】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年 8 月期	<u>1,175</u>	<u>850</u>	△1,493	2,676
26年 8 月期	831	△347	△950	2,140

1. 経営成績・財務状態に関する分析（添付資料 4ページ）

(2) 財政状態に関する分析

②キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

(中略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、983百万円（前年同期比18.3%増）となりました。収入の主な内訳は税金等調整前当期純利益472百万円及び減価償却費468百万円によるものであり、支出の主な内訳は法人税等の支払額158百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、1,042百万円（前年同期は347百万円の減少）となりました。収入の主な内訳は子会社株式の売却763百万円及び有形固定資産の売却680百万円によるものであり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得183百万円及び無形固定資産の取得による支出255百万円によるものです。

(中略)

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年8月期	平成24年8月期	平成25年8月期	平成26年8月期	平成27年8月期
自己資本比率 (%)	20.8	17.1	15.4	17.6	21.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	13.0	25.9	23.5	29.5	41.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	6.0	7.8	10.9	8.6	<u>5.8</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	10.2	8.7	6.3	7.3	<u>9.8</u>

【訂正後】

(中略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,175百万円（前年同期比41.4%増）となりました。収入の主な内訳は税金等調整前当期純利益472百万円及び減価償却費468百万円によるものであり、支出の主な内訳は法人税等の支払額158百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、850百万円（前年同期は347百万円の減少）となりました。収入の主な内訳は子会社株式の売却571百万円及び有形固定資産の売却680百万円によるものであり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得183百万円及び無形固定資産の取得による支出255百万円によるものです。

(中略)

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年8月期	平成24年8月期	平成25年8月期	平成26年8月期	平成27年8月期
自己資本比率 (%)	20.8	17.1	15.4	17.6	21.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	13.0	25.9	23.5	29.5	41.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	6.0	7.8	10.9	8.6	<u>4.9</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	10.2	8.7	6.3	7.3	<u>11.7</u>

5. 連結財務諸表（添付資料 18ページ）

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)		
	前連結会計年度 (自 平成25年 9月 1日 至 平成26年 8月 31日)	当連結会計年度 (自 平成26年 9月 1日 至 平成27年 8月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
その他	73,839	<u>116,815</u>
小計	1,070,224	<u>1,239,977</u>
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	831,397	<u>983,402</u>
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	184,802	<u>763,914</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347,094	<u>1,042,609</u>

【訂正後】

(単位：千円)		
	前連結会計年度 (自 平成25年 9月 1日 至 平成26年 8月 31日)	当連結会計年度 (自 平成26年 9月 1日 至 平成27年 8月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
賞与引当金の増減額 (△は減少)	892	<u>26,099</u>
未払消費税等の増減額 (△は減少)	43,861	<u>57,397</u>
その他	29,085	<u>225,776</u>
小計	1,070,224	<u>1,432,433</u>
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	831,397	<u>1,175,859</u>
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	184,802	<u>571,458</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347,094	<u>850,152</u>

（5）連結財務諸表に関する注記事項（添付資料 22ページ）

（表示方法の変更）

【訂正前】

記載なし

【訂正後】

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「賞与引当金の増減額」及び「未払消費税等の増減額」は重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた73,839千円は、「賞与引当金の増減額」892千円、「未払消費税等の増減額」43,861千円、「その他」29,085千円として組替えております。

(5) 連結財務諸表に関する注記事項 (添付資料 34ページ)

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

【訂正前】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 平成26年9月1日 至 平成27年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	カラオケ ルーム 運営事業	フルサー ビス型珈琲 ショップ 運営事業	CP事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,176,133	756,339	319,606	9,252,080	589,708	9,841,789	—	9,841,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39,010	—	39,010	118,268	157,278	△157,278	—
計	8,176,133	795,350	319,606	9,291,090	707,976	9,999,067	△157,278	9,841,789
セグメント利益	970,309	39,431	201,688	1,211,429	12,230	1,223,659	△801,388	422,271
セグメント資産	6,078,485	539,636	93,145	6,711,266	404,676	7,115,943	2,392,237	9,508,180
その他の項目								
減価償却費	355,910	23,640	9,261	388,812	25,587	414,400	54,016	468,416
減損損失	343,504	38,905	—	382,410	98,877	481,287	5,635	486,922
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 4	34,121	1,899	104	36,125	42,606	78,731	401,343	480,074

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業」、「まんが喫茶(複合カフェ)運営事業」、「音響設備販売事業」等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。
- (2) セグメント利益の調整額△801,388千円には、セグメント間取引消去27,943千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△829,332千円が含まれており、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。
- (3) セグメント資産の調整額のうち、各報告セグメントに配賦していない全社資産の金額は2,388,118千円であり、その主なものは親会社本社のグループ管理部門の資産であります。
- (4) 減価償却費の調整額54,016千円には、セグメント間取引消去△27,114千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用81,130千円が含まれております。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額480,074千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び差入保証金が含まれております。

【訂正後】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
当連結会計年度(自 平成26年9月1日 至 平成27年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	カラオケ ルーム 運営事業	フルサー ビス型珈琲 ショップ 運営事業	C P 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,176,133	756,339	319,606	9,252,080	589,708	9,841,789	—	9,841,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39,010	—	39,010	118,268	157,278	△157,278	—
計	8,176,133	795,350	319,606	9,291,090	707,976	9,999,067	△157,278	9,841,789
セグメント利益	970,309	39,431	201,688	1,211,429	12,230	1,223,659	△801,388	422,271
セグメント資産	6,078,485	539,636	93,145	6,711,266	404,676	7,115,943	2,392,237	9,508,180
その他の項目								
減価償却費	355,910	23,640	9,261	388,812	25,587	414,400	54,016	468,416
減損損失	343,504	39,651	—	383,156	98,877	482,033	5,635	487,668
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 4	61,072	1,899	104	63,075	42,606	105,681	401,343	507,025

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「ビリヤード・ダーツ遊技場運営事業」、「まんが喫茶(複合カフェ)運営事業」、「音響設備販売事業」等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。
- (2) セグメント利益の調整額△801,388千円には、セグメント間取引消去27,943千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△829,332千円が含まれており、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。
- (3) セグメント資産の調整額のうち、各報告セグメントに配賦していない全社資産の金額は2,388,118千円であり、その主なものは親会社本社のグループ管理部門の資産であります。
なお、からふね屋珈琲株式会社の株式譲渡が当連結会計年度末付近に行われたことから、業績評価の観点からフルサービス型珈琲ショップ運営事業に資産539,303千円を配分し、同額を調整額から消去しております。
- (4) 減価償却費の調整額54,016千円には、セグメント間取引消去△27,114千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用81,130千円が含まれております。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額401,343千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び差入保証金が含まれております。

以 上